

いまでもあしたも誇れる藤沢であるために

市川新聞

討議資料
第24号

発行所
市川かずひろの会
藤沢市川名181-18 B-1001
TEL/FAX 0466(24)4871

ご挨拶

多くの皆様に叱咤激励をいただきましたながら藤沢市議会議員として活動してまいりました。「市民の皆さんの声」、「現場の視点」を常に意識し、肌で感じ、積極的にご意見を頂戴するよう努めてまいりました。急激に進む少子高齢化、地域経済の停滞、満足のいったものにならない子育て・福祉支援など、考えている以上に多くの問題、課題が深刻化しています。現役世代に喪失感を、高齢者には不安を抱かせるような政治が行われないように議員一人一人がしっかりと行政をチエックしなくてはなりません。私、市川かずひろは、働き盛りの世代の一人として責任を持ち、いまでもあしたも誇れる藤沢を創るためにがんばります。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。



プロフィール
市川 かずひろ 39歳
昭和46年4月8日鶴沼神明に生まれる
元経済産業大臣(甘利明)秘書

略歴
六会幼稚園
六会小学校
湘南台中学校
日本大学藤沢高校
日本大学法学部経営法学科
大和工商リース株
労働大臣(甘利明)秘書
衆議院議員(甘利明)公設第二秘書

現在
藤沢市議会議員(会派 ふじさわ市民・無所属の会)
建設常任委員会 委員
環境災害特別委員会 委員
議会報編集委員会 委員長

主な役職
藤沢左官業組合 顧問
藤沢市電設業協会 顧問
藤沢市管工事業協同組合 顧問
藤沢市緑化事業協同組合 顧問
藤沢若とび連合会 顧問
村岡地区諸団体 顧問
少林寺拳法藤沢道院 顧問
藤沢市バドミントン協会 会長
日本大学藤沢高校同窓会藤沢支部 副支部長

かずひろの活動報告

市川かずひろは議会の場で様々な質問、提案をしてまいりました。市民の皆様や民間会社、各種団体と多くの意見交換の中でいただいたご意見を形にしてきました。

●川名地区において要望がありました信号機、横断歩道の新設に対し、神奈川県並びに警察署に要望。



平成21年3月に設置。

●自然エネルギー、省エネルギー型の設備を導入した建築物に対し、建築基準法による容積率緩和の制度を活用できるように一般質問で提案

平成21年4月より藤沢市において運用基準が設けられました。エネルギーを上手に使うという上では、何といたっても家庭のエネルギー消費というのは大切なポイント。家庭部門では3割を占める給湯の省エネが注目をされて

おり、省エネルギー性の高い給湯器の普及が望まれています。であるならば、横浜市のように、容積率緩和制度で建築物の省エネ化をさらに推進していくことが大切であると考えました。

●地産地消を推進するにあたり、飲食店などでの利用促進が大切。湘南ふじさわ産の表示には、シンボルのなものが必要と予算委員会発言

藤沢市では、平成21年度に「藤沢市地産地消条例」、平成22年度には「藤沢市地産地消推進計画」を策定。また、このほど、地産地消を推進するための「湘南ふじさわ産利用推進店」制度をスタートさせました。



湘南ふじさわ産農水産物をイメージしたロゴマークが出来上がりました。

●私は大災害が発生したときには、やはり自衛隊の役割というものは非常に大きいと考えています。本市でも、退職自衛官を採用し、防災計画の立案や大地震発災時の情報収集、関係機関との連絡調整など、防災業務対策に活用するべきではと一般質問で提案。



国民保護協力会講演会時に佐藤正久参議院議員と

平成21年8月より危機管理官として採用。危機管理体制の向上につながったものと確信しています。

藤沢を担うエースと期待する市川かずひろ君には藤沢のアイデンティティ(藤沢らしさの創造)を確立し他市に抜きんでたまらづくりに取り組んでほしいと思います。また、今の地方議会は行政の提案に賛否を表するだけで行政と議会との健全な緊張関係にはもう一歩という気がします。

これからはもっと議会側からも政策提案する。そのために提案を形にする仕組み、例えば議員立法ならぬ議員立条例等にも積極的に取り組んでほしいと思います。

私のもとで培ったミクロの視点とマクロの視点をフル活用して「ふるさと藤沢」のために頑張ってほしいと思います。

元経済産業大臣 衆議院議員 甘利 明



かずひろが行く

●東京電力(株)「首都圏の電気のふるさと」福島第二原子力発電所、エネルギー館や東京ガス(株)根岸工場を視察見学。私が申すまでも無く、わが国のエネルギー自給率は4%。原子力を国産エネルギーと換算しても20%弱。エネルギー構成は化石燃料が8割以上。その大部分が石油、その石油の9割は中東からの輸入。50年先、資源の無いわが国が今と同じようなインフラを整備できるかどうかはエネルギー政策にかかってくるのだと思います。私たちが住んでいる「藤沢」(私たち「藤沢市民」)は、エネルギー資源を使うだけ使うというエネルギー消費地(者)という認識を持つことが大切と考えます。エネルギーの地産地消という概念を広め、環境政策に取り組みます。



●神奈川県水産技術センターを視察。身近にある相模湾の構造やそこで取れる魚や貝、栽培漁業と養殖の違い、県の栽培漁業基本計画と放流実績などについて説明いただきました。会派では漁場を育て、それを地産地消はもちろんの事、観光など他の面でも活かす事が出来ないかという議論をしています。

●国際アニメフェアを見学。コンテンツ産業の誘致、藤沢コンテンツタウン構想は私の念願でもあります。例えば、私たちは普通に本を読み、音楽を聴き、演劇やドラマ、映画などの映像に触れて、成長し、心を、人生を豊かにしています。自治体だって映像を使い、自分のまちのPRを盛んにしている、イメージづくり、観光や市民交流、まちづくりの情報発信に役立てています。だから、こうしたコンテンツ産業の力を使っていくことが本市の経済面や文化面、教育面などの全体的な向上につながると確信しています。



かずひろと学ぶ

業界、団体の皆様との意見交換会で現場の声を学ばせていただいています。専門家の専門的なご意見を伺いながら、公平公正の観点での政策作りは議員の原点でもあります。



経済団体藤沢商工会議所の議員の皆様と意見交換会

自民党トピックス

●自民党は児童虐待ゼロを目指します。

自民党の地方議員が全国一斉にそれぞれの議会で同じ質問を行い、児童虐待防止法が各自治体で有効に運用されているかどうかを徹底的に調べます。調査結果を法改正や今後の対策に活かします。

●自由民主 YesNo-Voice にご投票ください。

Q.自民党は地方の声を、もっと反映すべきだと思う。



投票
www.jimin.jp

いままあしたも誇れる藤沢のために 私、市川かずひろはこう考えます。

毎議会終了後、市政報告・意見交換会の開催を徹底します。
市民の皆様のアイディア、知恵、提案を形にする仕組みを考えます。



1 インフラを含む住環境の整備
市民の皆さんのニーズは各世代多種多様です。良い住環境とは？と聞かれて、「すくお医者さんにかかれる」「近くに安くてよい品のあるスーパーがある」「治安が良い」など、様々です。各世代のニーズを見極め、暮らしやすい住環境の整備に努めます。また、この藤沢から落書きをなくしたいと考えています。自らも落書き消し隊を編成するとともに、罰則強化も視野に入れた制度設計に取り組みます。

2 持続可能な社会保障制度の構築
自助・自立を基本としつつも、自助努力では対応しきれない部分は相互扶助によるセーフティネットを確保するなど、安心して暮らす社会保障制度を確立することは急務であります。しかし、増え続ける高齢者を社会全体で支えるために現役世代へ過度に依存するようなやり方では、いずれ限界が来ます。地域の実情に即した財源の確保とサービスの提供を考えます。

3 きめ細かな福祉の追求
市民の皆様から多くのご意見をいただいたのは介護に関する相談でした。
①介護人材確保のための処遇改善 ②施設待機解消のための施設整備 ③認知症の人が利用できるサービスの充実 ④配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実 ⑤であります。
私は住み慣れた地域で安心した生活を送ることが出来るというのがなによりと考えます。以上の意見を踏まえ、介護保険法に基づく各種サービスの充実を図るとともに、介護保険サービスの適切な提供体制の構築に努めます。

4 子育て・教育環境の充実

子育て環境の中で最も深刻なのは保育園の待機児童問題です。しかしながら、保育所をただ増やせば、問題が解決するわけではありません。財源やニーズの問題があるからです。二児の多い駅周辺の土地の確保、そして、コストの軽減、暫定的な現象の対応として、リース方式などによる施設「プレハブも含む」の設置を提案します。
藤沢市では平成23年度より中学校給食の在り方について検討します。財源・効果・個々のお宅での食生活事情などの課題整理のため皆様のご意見を伺いたいと考えています。

教育、子育ての目標は培った知識や体験を社会で生かすことが出来るよう指導することであり、これは、自分自身で考え、答えを出す事が出来るようにすることであり、私はその考え方を大前提に子育て、教育環境の充実に努めます。

5 市内農水工商に携わる 皆さんの生産性、所得の向上

地域資源を活用した商品やサービスで地域経済に貢献する企業への積極的な支援、地域経済の受発注の仕組みづくり、藤沢の強みを分析し、藤沢ブランドの創出、消費者の声を地域経済に活かす仕組みづくり。また、市内企業の一部弱点和指摘される市場獲得力(いわば技術は優れているけれども売れない)の拡大に対しては行政、民間の更なる連携を誘導します。こうしたあらゆる施策を絡めながら、引き続き、ライフワークの一つである産業政策に取り組みます。

「市川かずひろ」からのお願い

●お声をかけて下さい

地域の集まり、趣味の集まり、会社の朝礼などどこへでも駆けつけます。宜しくお願い申し上げます。

●「市川かずひろの会」への 入会・紹介のお願い

皆様からの暖かいご支援を頂き、会の充実・発展に努めてまいりたいと考えております。ご近所の方、お知り合いの方などを是非、ご紹介くださいますようお願い申し上げます。会のイベントのお知らせや「市川新聞」等発送させていただきます。

●ボランティアを募集しています

藤沢市の人口は40万人を超えました。一人でも多くの方に私自身を知っていただくためには皆様のご協力が必要です。ボランティア可能な方は下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

●ポスターの掲出をお願いします

ご自宅の塀や土地にポスターを掲出させてください。掲出可能な方は、下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

